

## 品質・製品安全保証

お客様の満足度向上を図るため、「たかき “たのしく (た)・かんたん (か)・きれい (き)”」「ひのき “品質 (ひ)・納期 (の)・機密保持 (き)”」を富士ソフトが提供する製品・サービスの基本方針として定めています。

### 推進体制

「品質保証室」が当社の品質保証活動の指導・牽制機能を担っています。

### ISO9001 「品質マネジメントシステム」

1995年6月23日、品質保証の国際規格であるISO9001の認証を、独立系ソフトウェアメーカーとして初めて一般財団法人 日本品質保証機構より取得しました（登録証番号：JQA - 0910）。毎年、定期審査を受審し、認証を継続しています。

現在、当社の品質マネジメントシステム（QMS）は、ISO9001:2008に準拠し、高い品質の製品を納期内に納め、機密を保持することにより、お客様に満足を提供できる製品・サービスを実現します。

また、お客様からの苦情及び要望は、改善処置を実施の上、効果を確認して、「お客様満足度の向上」に繋がるような品質改善活動を推進しています。

### リスクマネジメント

近年、多様化するプロジェクトをより安定して運営するための施策として、2012年4月より、リスクマネジメントに重点をおき、リスク管理の強化を実施しています。確認漏れを防ぐためのセルフチェック、有識者によるレビューを実施し、想定するリスク管理の質を高め、定期的な確認を徹底することで、問題を発生させない仕組みを確立し、お客様への信頼の提供に努めています。

### 従業員教育

1994年4月から品質管理力の向上を目的とした品質管理教育を継続的に実施しています。

特に、製品開発を進める上で、プロジェクトを指揮・運営するプロジェクトマネージャー（PM）の力量が重要となるため、プロジェクトマネジメント力の強化を目的としてPM及びその候補者全員に対しPMBOK（※）をベースとした集合研修を実施し、PMとして安定したプロジェクト運営ができる人材を育成しています。

※ Project Management Body of Knowledge の略（プロジェクトマネジメント知識体系ガイド）

### プロジェクトマネージャー（PM）認定制度の導入

プロジェクトマネジメントレベルを定義し社員のプロジェクトマネジメント能力の向上を目的に、2012年4月より、プロジェクトマネージャー認定制度を導入致しました。社員のPM能力を審査し、能力に応じて、レベル7から3の5段階で認定されます。これにより、プロジェクトの規模・難易度に見合ったプロジェクトに適切な人材の配置を考慮し、安心・確実なプロジェクト運営に努めています。

### 案件モニタリング

2009年9月から、トラブルの抑止と早期発見のため、大型案件及び監視条件に該当する案件に対して定期的なモニタリングを行い、状況を組織的に把握、指揮牽制しています。モニタリングでは進捗や原価、作業時間の数値を確認するだけでなく、現場にヒアリングを実施します。洗い出されたリスクや課題については現場へフィードバックし、必要に応じて対策に関する指導や助言も行い、プロジェクト運営を良好に保つよう努めています。さらに、プロジェクトで得た教訓を周知し、生産性向上、トラブルの再発防止に役立てています。

### 標準開発管理環境（PLATON4D）

2011年9月から、プロジェクトの効果的、効率的な開発管理手法として標準開発管理環境の導入を推進しています。開発業務に必要なチケット管理・バージョン管理・品質向上の機能を連携した環境を利用することで、プロジェクトの構成管理を確実に行うことができます。

1995年



JQA-0910

(登録証番号：JQA-0910 1995年6月23日)

## 情報セキュリティ

社会とお客様の信頼にこたえるために情報資産を新たな経営資産と位置付け、その安全確保に努めるとともに、情報セキュリティ基本方針を制定し、これを遵守し推進することを宣言します。

### 情報漏洩事故発生状況

当社では、対外的信用に関わる重大な情報漏洩事故は発生していません。引き続き、対策の強化を図ると共に教育、指導を実施し、事故防止に向けて取り組んでいきます。

### 管理・推進体制

2005年4月、情報セキュリティ担当役員のもと、情報セキュリティに対する取り組みを全社的視点から組織的かつ効果的に企画・推進するために、「情報セキュリティ室」及び「情報セキュリティ・ウイルス対策本部」を設置しました。全社の情報セキュリティ推進者を招集し、月に一度「セキュリティ委員会」を開催し、情報漏洩防止を徹底しています。

当社情報セキュリティ関連規程は全て、イントラネットにて社内公開しています。なお、重点項目として、「情報漏洩防止12カ条」、「個人情報漏洩防止7カ条」のポスターを社内に掲示し、周知しています。

また、改正個人情報保護法に基づき、社内規程を見直し、管理体制を強化して法令遵守に努めております。

### ISMS「情報セキュリティマネジメントシステム」

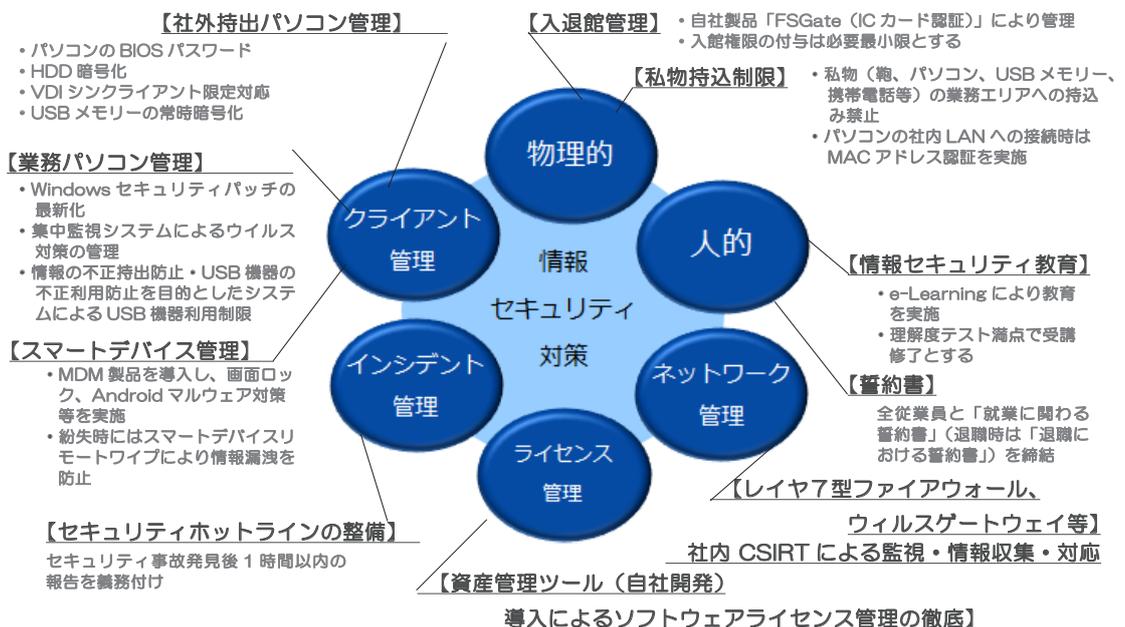
国際規格である情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC27001）に基づく認証は、2006年3月、東京データセンターにて取得し、現在は全てのデータセンターで認証を取得し、お客様に安心してご利用いただける、安全なデータセンターの運営を行っています。

### プライバシーマーク

日本工業規格「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム」に基づく認定は、2002年5月、全社を対象として受けており、個人情報保護に関わる規程及び管理体制を整備しています。

### 情報セキュリティ対策

当社は以下のとおり、セキュリティ対策を講じており、セキュリティ事故の未然防止に努めています。特に、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット端末等）の業務利用に対し、MDM（モバイル端末管理）製品の導入によりウイルス対策、紛失時のリモートワイプ対応といったシステム面からの対策と共に、セキュリティガイドラインの公開及びセキュリティ教育による啓蒙活動を実施しています。また、「標的型攻撃メール」による情報漏洩に備え、インターネットに出て行くデータの監視体制を構築し、分析・監視・対策の体制を整えています。



JQA-IM1223 / ISO27001  
 認証取得部門：運用グループ/  
 九州DCグループ/業務推進グループ/  
 ファシリティアグループ



(認証番号：11820153(08) 2016年5月21日)